

パイロキープTS工法による下水道・廃液処理槽防食塗装仕様及び施工要領書

コンクリート素地 下地調整 (1回) 塗装工程 (4回) 防食指針C・D1 種仕様

- (下地処理) ①下地にバリ、エフロ、レイタンス、脆弱層は電動工具を使用し目荒しを兼ね全面研削する。
 ②素地の断面修復等は早強セメント・樹脂モルタル等を利用し含水率(8%以下)にて次工程に移れる様、努めて下さい。

(下地調整)	下地調整材 粉体/樹脂比 清水希釈率 塗布量 施工方法 塗装間隔	パイロキープTS900E 15kg(粉剤)/5kg(硬化剤)(20kg/セット) 1kg未満/1セット 1~2kg/m ² (通常1kg) コテ作業(下地からの置換膨れは膨れは速やかに潰す) 16時間以上(20℃)
(塗装工程)		
工程1)	下塗り材 主剤/硬化剤比 シンナー希釈率 塗布量 塗装方法 塗装間隔	パイロキープTS2000プライマーC(白) 70/30(重量比) 0~10% 200g/m ² <u>刷毛・ローラー(置換・泡噛みによる泡は刷毛等により潰す)</u> 6時間以上3日以内(20℃) ウエットオンウエット可(若干タックのある状態でも、 作業に支障無ければ、次工程可)
工程2)	下塗り材 主剤/硬化剤比 シンナー希釈率 塗布量 塗装方法 塗装間隔	パイロキープTS2000プライマーC(白) 70/30(重量比) 0~10% 200g/m ² <u>刷毛・ローラー(置換・泡噛みによる泡は刷毛等により潰す)</u> 6時間以上3日以内(20℃) ウエットオンウエット可(若干タックのある状態でも、 作業に支障無ければ、次工程可)
工程3)	上塗り材 主剤/硬化剤比 シンナー希釈率 塗布量 塗装方法 塗装間隔	パイロキープTS2000(日塗工調色) 70/30(重量比) 0~10% 200g/m ² <u>刷毛・ローラー(置換・泡噛みによる泡は刷毛等により潰す)</u> 6時間以上3日以内(20℃) ウエットオンウエット可(若干タックのある状態でも、 作業に支障無ければ、次工程可)
工程4)	上塗り材 主剤/硬化剤比 シンナー希釈率 塗布量 塗装方法 養生	パイロキープTS2000(日塗工調色) 70/30(重量比) 0~10% 200g/m ² <u>刷毛・ローラー(置換・泡噛みによる泡は刷毛等により潰す)</u> 完全硬化72時間以上(20℃)

(注意及び施工要領)

- ① 塗装方法は吹きつけ、刷毛、ローラーを使用出来ます。2液性塗料につき2時間以内で使い切る量を混合し、使い切ります。
- ② シリコン含有量の高い特殊塗料につき、泡切れが悪い、泡残りしやすい、乾燥が遅い等の癖があります。ローラー使用では無泡ローラー・短毛スモールローラーの使用をお奨めします。
- ③ 泡嚙みした場合は、速やかに空刷毛（ネタをつけない手刷毛）にて泡を潰して下さい。放置した場合、泡が弾けずドーム状に残ったまま硬化します。（クレーター・ピンホール）
- ④ 屋外施工の場合、夏場は虫の付着対策の為、冬場は結露対策の為、夕方に掛かる塗装は避け早めに切り上げて下さい。
- ⑤ 低温期・工程上、硬化促進剤を1～2%添加し、インターバル・養生を早める場合があります。但しこの場合、ポットライフが1時間以内となり増粘・ゲルしますのでご注意ください。硬化促進剤は任意使用の為、通常は付いておりません。必要の場合は販売店にご指示願います。
- ⑥ 強溶剤の材料につき、特に屋内・ピット・密閉状態での塗装では強制換気装置を用意し、溶剤中毒事故・火災事故等の無い様、厳重注意願います。

(塗料荷姿)

TS2000 (チタン酸カリウム入りアクリル変性シリコン塗料)

パイロキープTS900E	20kg/セット
パイロキープTS2000プライマーC	4kg/セット・10kg/セット
パイロキープTS2000（日塗工調色）	4kg/セット・10kg/セット
パイロキープ専用シンナーは上・下共通	4kg/缶 ・ 15kg/缶

※硬化促進剤は任意使用（1～2%） ご依頼のあった場合のみ適量添付します。
添加は少量計量可能な計量器（スポイト等）を使用し目分量での添加は避けて下さい。
 使用中塗料のゲル化・仕上がりの白化懸念があります。